

志村けんを殺したのは誰だ？「だいたいよぶだー」ではなかった。国民のアイドルで、高年あこがれのすけべオヤジの誉れが高かった志村けんを殺したのは武漢ウイルスだ。マルセイユ風邪でもなければ、トリノ風疹でもミネアポリス・インフルエンザでもない。武漢ウイルスは中国の武漢にある。だから中国にはいつも信頼感もなければ、親近感も湧かない。

効果抜群の漢方薬

ただ信頼している物もあった。中国には漢方がある。中国何千年というくらいだから西洋医学よりも、とりあえず歴史はある。そして私は鼻炎だ。この鼻炎対策で25年ほど「小青竜湯」を飲み続けている。

25年ほど前のある朝、急に鼻呼吸ができなくなって目が覚めてしまった。翌日、耳鼻科に行き、症状を説明すると薬による治療が始まった。これが眠たくて眠たくて、まるでセーナで75度バンク傾け旋回して3Gがかかった以上に喉が重たかった。確かに耳鼻科の先生は副作用で眠たくなると言っていたが、想像を超える眠たさに襲われた。病院でどのアレルギーがあるかどうかを調べるパッチテストを行なうと、ダニ、カビ、ハウスダスト、チモシー、ヨ

モギ……と出るわ出るわ。先生から「家汚いんじゃないの？」と言われる始末。

そこで自宅の一階部分を大改装したが症状は変わらなかった。その後、減感作療法というアレルギーの原因物質を少しずつ注射する方法を勧められた。2年間通い、打った注射の数は100本。少しは良くなったが、まだ鼻がぐずっていた。

なんでも右の鼻の奥が曲がっている鼻中隔湾曲症らしい。何か大病か？と思ったら日本人のかかりの数が生まれつきそうらしい。ある航空自衛隊のパイロットにこのことを話すと、パイロット試験の航空身体検査で指摘されるという。事前に鼻の奥にある曲がった部分を削ると、鼻と耳と目がつながる？という話も聞いた。さすがに上の歯の上部をめぐって……なんて手術方法は、聞いただけでビビってやらなかったが、最近鼻からクイツとやれるらしい。注射もたいして効かない、手術もやりたくない、さーどうするか人生

日本は小作人根性に溢れている(6)

Vol.147



宮井 能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作物する。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョシディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

Illustration by Kazushige Akita

選択のときが来た。

たまたまNHKの教育テレビ（現在のEテレ）を見ていたら、ドンピシャで自分の症状のアレルギー性鼻炎の説明をしていた。番組では漢方の小青竜湯を勧めていた。次回病院に行ったら、医者「漢方ね」と渋った。どうもこの先生は漢方をあまり信用していないようだ。仕方がないので保険適用外の自費でこの

オレにも 言わせる!

北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

魔法の漢方薬を購入した。これがド
ンビシャで効果あり。でもひと月で
6000円になった。高いなーと思
いつつ購入していたところ、病院の
先生が亡くなってしまった。

時を同じくして隣町に耳鼻科が開
院した。やはり医者と弁護士は若い
に限る。結局いまに至るまで、その
新しい耳鼻科に通っている。若い先
生に小青竜湯を飲んでいることを伝
えると、「保険適用になるよ。それ
と眠たくなりづらい薬もあるよ」と
いう。それ早く言ってくれよ。

薬は隣の薬剤店から購入している
が、あるとき自動ドアが開くといつ
もの担当者が「ヒール・ミヤイ
さん、こんにちは」と言ってく
た。なんで知っているんだ?となっ
たが、農業に興味があり私の名前が
出てきたので、その薬剤店の方も驚
いた、ということだった。

アメリカの漢方薬剤店で

1995年6月にアメリカ本土に
行った際、サンフランシスコ経由で
ノースダコタのファーゴに向かっ
た。ところが、ない! いつもの鼻
炎薬である小青竜湯を持ってくるの
を忘れてしまったのだ。ない物はな
い。

ファーゴに到着して思い出した。
取引先のボブにも小青竜湯を送って

いたのだ。彼も同じハイファイバー
(鼻炎)と言っていたので、魔法の
薬である小青竜湯を送ったが、発疹
が出て使っていないという。そこで
ボブにまだ持っているか聞いたとこ
ろ、5袋残っていたのでそれをもら
うことになったが、足りない。

所用でファーゴを離れて数日間ミ
ネソタ・ミネアポリスに行った。大
抵このくらいのサイズの町だとチャ
イナタウンは必ずあり、漢方薬剤店
もある。そこで出会った中国系中国
人の爺さんは英語ができなかったの
で、漢字で「小青竜湯」と書いた紙
を渡した。黙って私の書いた文字
を見ていたが、「竜」の文字は違っ
て「龍」が正しいと言ってきた。よ
く漢字が書けるなと褒められたの
で、そりゃ日本人ですからと伝える
と、その爺さんは日本人が漢字を使
うことを知らなかったようだ。会話
は孫を通じてイングリッシュで成り
立ったが、ミネアポリスで漢字を使
うことになるとは思わなかった。

結局、小青竜湯の調査する成分が
一部ないので作れないことになっ
た。サンフランシスコのチャイナタ
ウンにいる「Thanh Truong」とい
う漢方の女医を紹介してくれたが、帰
りは直行便で成田に向かったので寄
れなかったが面白い勉強になった。
話を戻そう。どうも日本で販売し

ている漢方薬は中国と同じではない
らしい。ネット情報によると日本製
の漢方薬は世界でのシェアは90%
で、中国製は2%とある。生薬は中
国製でもその後の加工技術が違うら
しい。あゝそれであの小青竜湯がミ
ネアポリスのチャイナタウンで販売
していない理由に合点がいった。
さて今回の武漢関連で思い出した
ことがある。いろいろな横文字が登
場した。

クラスター (Cluster) とは、り
患者がたくさんいる所のことだが、
クラスターと言えば農水のクラス
ター事業をどうしても思い起こさせ
る。例えば畜産クラスターとは補助
金を地域の関係者が計画を立て、認
定を受けて補助事業をしますとな
る。辞書によるとクラスターの意味
はブドウの房、群れ、塊でグルー
プ化された集団のことらしい。

集団といえは、「三人寄れば文殊
の知恵」という言い方もある。平凡
な人でも3人が協力すればよい知恵
が出る、ということを知っている。
ここで疑問が生まれる。「寄る」
は1+1+1=3の足し算なのか、
1×3の掛け算なのか。どちらも答
えは3になる。おそらく「寄る」に
は「よせる」の意味があるのでたぶ
ん足し算になるのだろう。もし掛け
算だと、一人でも何も変化を求

めないゼ口、もしくはマイナ
ス野郎がいたら、よく見かけ
る小作人根性の絢爛華やかな
烏合の衆となってしまう。
オーバーシュート (Overshoot)
は爆発的に患者が増えること。一応
飛行機乗りなので同じ単語を使う。
飛行場のベースレグから滑走路と一
直線になるファイナルに入る時に膨
らんで行き過ぎてしまう場合にこの
オーバーシュートした(下手くそと
いう意味)、とこう。
ロックダウン (Lockdown) は都
市閉鎖。お前の頭はロックダウンだ。
ソーシャル・ディスタンス (Social
Distance) は人との距離を取るこ
と。WHO (世界保健機関) が
表記できない伝染病がある。2
m離れていても目と目が合っただけ
でり患してしまう。何かだつて?
それは、バカと貧乏と小作人
根性。先人はこう呼んだ、類
は友を呼ぶ。

世界で通じる日本語もある。
「Sushi (＝寿司)」、「Sasimi (＝
刺身)」、「Tempura (＝てんぷら
なぜ?)」などの日本食や古くは
「Kamikaze (＝神風)」、「Harakiri (＝
腹切り)」、「Syogun (＝将軍)」な
どの歴史物もある。ちなみに、まだ
若いときを思い出させる「Bukkake」
はぶっかけ丼の意味ではない。